

創発に関する基礎研究

～自律的に判断するシステムの開発～

岡村 修司

創発

自律

知能

研究室の所在：電気情報工学科棟3階

・なぜこの研究をしているの？

人間が行う思考のメカニズムに興味がある。自律的に判断するシステムを開発する過程で、工学的な見地からの知見を得たいと考えている。

・具体的に今やっているのはどんなこと？

人間は目標を持っており、これを達成するための手順を自分自身で組み立てることができる。自分一人で解決できないと判断すると、他者に協力を求め、連携することも可能である。日常生活で体験したことを抽象化したり、抽象的な概念から具体的な行為を導出することもできる。

自律的なシステムには、これらの機能を持たせることが必要で、そのために

- 1) システムに理解できるように目標を記述する方法
- 2) 目標と現状の差分を認識し、これを少なくする方法
- 3) 学習で得た知識を記述する方法
- 4) 知識の保存・検索が行える知識ベースの実現方法等について考えている。「考えている」とは、研究と呼べるレベルにはまだ達していないということである。

・研究成果はどのようなモノやコトに役立つの？

人間と同じ仕組みで思考するのだから、人間との親和性が高いシステムの開発に役立つかもしれない。それより何より、私自身の好奇心を見たすことに役立つ。